

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 腎癌の転移巣を切除した患者の予後と予後因子の検討

[研究機関] 北海道大学病院泌尿器科

[研究責任者] 篠原 信雄（泌尿器科・准教授）

[研究の目的]

2000年以降に当科で実施した転移性腎細胞癌症例のデータを集め、これらの症例のうち転移巣切除術が行われたものの術後経過を明らかにするとともに、今後の治療選択に役立つ予後予測因子の探索^{*1}を行うことを目的としています。

^{*1} 予後予測因子の探索…術後の経過をたどり、治療効果に様々な差がでる要因について探索することをいいます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2000年から2010年までに当院において臨床的に腎細胞癌と診断され、初診時もしくは経過観察中に転移を認め、転移巣切除術を受けた方

●利用するカルテ情報

- ① 年齢、性別、診断日（臨床的に腎細胞癌と診断された日、転移が発見された日の診断日）、病理学的因子、初診時の癌の進行度、腎摘の有無、組織学的悪性度、血液検査結果など転移発見時の所見
- ② 転移発見時から現在までに行われた治療内容についての情報
- ③ 手術関連情報、術後治療内容、患者さんの最終確認日と転帰

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院泌尿器科 担当医師 篠原 信雄

電話 011-716-1161

FAX : 011-706-7853